



平成 23 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 栗林商船株式会社
代表者名 代表取締役社長 栗林 宏吉
(コード番号：9171、東証第 2 部)
問合せ先 取締役経理部長 阿部 英之
(TEL. 03-5203-7982)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 投資有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 24 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

なお、四半期会計期間末の投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替方式を採用しているため、平成 24 年 3 月期第 3 四半期及び平成 24 年 3 月期の期末日の時価あるいは実質価額により、投資有価証券評価損の計上額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
(A) 平成 24 年 3 月期第 2 四半期会計期間（平成 23 年 7 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	266 百万円	268 百万円
(イ) 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	266 百万円	272 百万円
(ロ) 直前四半期（平成 24 年 3 月期第 1 四半期）累計期間（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 6 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	—	4 百万円

※ 四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B) 平成 23 年 3 月期末の純資産額	5,220 百万円	10,732 百万円
(A / B × 100)	5.0%	2.5%
(イ / B × 100)	5.0%	2.5%
(C) 最近 5 事業年度の経常利益額の平均	252 百万円	863 百万円
(A / C × 100)	105.5%	31.0%
(イ / C × 100)	105.5%	31.5%
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益額の平均	114 百万円	600 百万円
(A / D × 100)	233.3%	44.6%
(イ / D × 100)	233.3%	45.3%

(注) 「(C) 最近 5 事業年度の経常利益額の平均」には最近 5 事業年度の経常利益（経常損失である年度は零とする。）の平均を、また、「(D) 最近 5 事業年度の当期純利益額の平均」には最近 5 事業年度の当期純利益（当期純損失である年度は零とする。）の平均を記載しております。

2. 今後の見通し

平成 24 年 3 月期の第 2 四半期業績及び通期業績予想につきましては、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

以 上